

景観重要建造物の改修工事が完了しました！

犬山城下町 まちなみ便り

R8.1月号
発行 犬山市

令和7年5月に景観重要建造物に指定した枝町の犬山祭車山蔵の改修工事が完了しました。改修工事には景観形成助成金を活用しています。

景観形成助成金は対象となる建築物などの、景観計画で定める城下町ゾーンのルールに適合するための改修工事などにも活用することができます。

景観形成助成金を活用したい場合は、お早めに都市計画課へご相談ください。

対象となる建築物など

- ・景観重要建造物
- ・歴史的建築物
- ・景観形成促進地区内の建築物や工作物



◀景観形成促進地区
(および景観形成
助成金)のHP
ページ番号 1001221



改修後



改修前

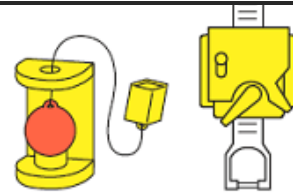
建物の防火対策を見直しましょう！

城下町には歴史的な町家などの古い建物が多いことに加えて、隣家との間隔も狭い場合が多く、適切な防火対策が特に重要となります。一年でもっとも空気が乾燥するこの時期、ご紹介する市の支援策を参考に建物の防火対策の見直しをしましょう！

感震ブレーカー 設置費補助金 (所管：防災交通課)

感震ブレーカーとは、地震の揺れを感知して電気の流れを自動的に止める装置です。不在時や、ブレーカーを切って避難する余裕がない場合に電気火災を防止する有効な手段です。

- 補助対象者 市内で自ら所有または居住する住宅に感震ブレーカーを設置した方
- 補助対象製品 一般社団法人日本消防設備安全センターなどの認証を有する製品
- 補助金額 感震ブレーカーの購入と設置にかかる費用の2分の1 (上限1万円)



おもり玉式

パネ式

↑ ホームセンターなどで購入できる簡易タイプもあります (2~4千円程度)

住宅用火災警報器 の取付け支援 (所管：消防本部予防)

原則すべての住宅には住宅用火災警報器の設置が義務化されています。すでに設置された製品についても、正しく作動するか定期的な点検を行い、10年を目安に交換を行いましょう。

- 支援内容 お住まいの住宅に消防職員が無料で住宅用火災警報器の取付け作業を行います。(住宅用火災警報器は申請者でご用意ください。)
- 支援対象 65歳以上の方のみの世帯、身体障害者手帳をお持ちの方のみの世帯、または消防長が自ら取り付けを行うことが困難と認める方



◀感震ブレーカー設置費
補助事業のお知らせの
HP
(ページ番号 1005842)



◀住宅用火災警報器の
取付け支援のご案内の
HP
(ページ番号 1011245)

■ 補助・支援の内容は下記にお問合せください
防災交通課 (防災担当) : 0568-44-0346
消防本部予防課 (予防担当) : 0568-65-3123

「街歩き」を実施しました！

9/22 に愛知県及び関係市町の屋外広告物行政担当者と愛知県広告美術業協同組合の組合員で「街歩き」を実施し、屋外広告物の現地確認・意見交換等を行いました。広告業界10名、事務局2名、行政職員16名、総勢28名の方々にご参加いただきました。

意見交換では、参加者から様々な意見をいただきましたので、ご紹介します！

のれんや木の看板は城下町の雰囲気にあって良いと思います



情報も A 看板にまとまっています

暖簾と文字の書体が街並みと合っていて素敵です

のぼり旗が多く、歩道に出ているところもありますね



のれんや木の看板に対して、好印象の意見が多く見受けられました。最小限の文字でシンプルな看板も、古い建物を引き立てており印象が良いと感じる方が多いようです。一方で、のぼり旗が多いという意見や、建物に対して文字が大きくなる気になるという意見もありました。

屋外広告物を設置する際は、ガイドラインを確認してみましょう！



犬山城下町
屋外広告物
ガイドライン HP
ページ番号 1005901

「犬山城下町らしさ」をみんなで守っていきましょう！

犬山城下町には、江戸時代の町割り「総構え」が残っており、幕末から昭和初期に建てられた歴史的な趣の残る町家など、当時の面影を残した美しいまちなみが見られます。虫籠窓(むしこまど)、連子格子(れんじごうし)、熨斗面戸(のしめんど)などの意匠を持ち、切妻平入りを基本とした平屋・厨子二階(つしにかい)・バンコ二階・本二階の町家が軒を連ねます。また、軒を船桧造り(せがいつくり)とした風格のある町家が見られるのも特徴の一つです。

■厨子二階(つしにかい)

2階の天井が低く、虫籠窓がある建築物。江戸時代から明治時代に流行った様式で、大名行列を見下ろさないよう2階の天井が低く抑えられていた。

■バンコ二階

2階の天井が低く、表側のみ部屋が造られ、背面は小屋裏で厨子二階から本二階になる中間的な造り。

■本二階(ほんにかい)

軒高を高くし、2階の正面側と背面に部屋を設けた造り。明治末期以降に見られる。

■連子格子(れんじごうし)

窓や扉の一部などに立て並べてはめこんだ木または竹の格子のこと。

旧磯部家住宅



■虫籠窓(むしこまど)

虫籠(むしかご)のように目を細かく組んだ格子をはめた窓。窓枠などを漆喰塗として防火構造にしたもの。

■熨斗面戸(のしめんど)

土居のし瓦の継ぎ目の雨仕舞に漆喰を用い、市松模様に見えるようデザインされたもの。



■船桧造り(せがいつくり)

日本の伝統的な建築様式で、軒などを腕木で持ち出して深く張り出す工法。